

安心感地域NO.1を目指します

かけはし

9月号



百万石の極み

さらに輝く地域の宝

特集!

秋の収穫始まる

令和4年産米刈りが始まりまし
た。主要早生品種「ゆめみづほ」の
刈り取り適期は8月18～23日（山間
地は3日程度の遅れ）で、前年より
2日早い刈り取りとなりました。

羽咋市で12haを作付けする渡勝己
さんは、8月19日に早生品種「ゆめ
みづほ」を収穫し、「今年は、天候が
不安定で対応に追われている。8月
上旬の大雨の影響が少し不安だが、
今年も変わらず美味しいお米ができ
るだろう」と話しました。

J Aでは、8月19日から志雄ライ
スセンター、20日から押水ライスセ
ンターとカントリーエレベーターが
稼働し、作業のピークを迎えました。



「ゆめみづほ」の稲穂を刈り取る渡さん(羽咋市旭町)

令和4年産米 初検査



「ゆめみづほ」の初検査を行う検査員(雁田倉庫)

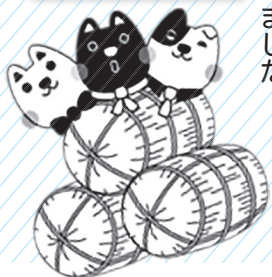
J Aはくいの令和4年産米初検査が8
月24日、羽咋市の雁田倉庫で、能登地区
のトップを切って行われました。早生品
種「ゆめみづほ」14tがフレコンで持ち
込まれ、農産物検査員が整粒歩合や水分
量、被害粒の有無などを入念に検査し、
全量一等に格付けしました。

梅雨明けが早かった今年は、6月下旬
の幼穂形成期から7月にかけて気温が高
く、「ゆめみづほ」で平年より7日早い7
月16日に出穂期を迎えました。出穂後も
高温が続く、胴割れ粒等の発生が懸念さ
れる高温登熟年でしたが、品質は総体的
に良好となりました。

初検査には、J Aの農産物検査員や倉
庫担当者ら約30人が参加。山本好和組合
長はあいさつで「資材高騰などの厳しい
状況下ではあるが、立派な米が収穫され
たことが嬉しく、安堵している。適正な
検査に努め、はくい産米の信頼を高めて
ほしい」と話しました。

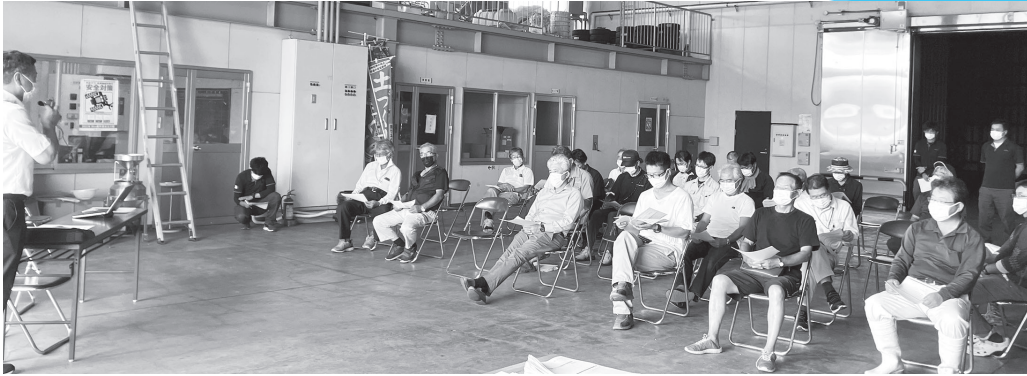
J Aグリーンはくいでは、8月31日か
ら新米の販売を始めました。

「ゆめみづほ」
全量一等米





説明を受ける生産者(砥温倉庫)



米

穀検査システム

JAはくいは今年度より、荷受けから検査結果、在庫状況までを一元に管理するシステムを導入しました。ITを活用した管理を行うことで荷受けにかかる手続さと検査事務の効率化と省力化を図ることを目的としています。

QRコードで簡単予約

一部担い手農家には、スマホで出荷予約などができる「お米検査システム」を試行してもらっています。対象者は、水稲作付け面積4ha以上の出荷契約者100人で、8月10日に、4か所のJA倉庫で、説明会を行いました。

「お米検査システム」は、スマホでQRコードを読み込み、インターネットで出荷予約が行えます。制作した株式会社Avalanche Tech(アバランチテック)の鈴木社長が各倉庫を訪れ、使用方法を説明し、8月22日から予約受付を開始しています。今後は、対象範囲を広げて説明会を行う予定です。



タブレットで検査システムを活用する検査員(押水倉庫)

甘

さ十分、押水いちじく初出荷

初出荷された押水いちじく「榊井ドーフィン」
(押水青果物集荷場)



宝達志水町押水地区特産のイチジクが8月11日、金沢市場へ向けて初出荷されました。JAはくいはく押水いちじく部会では、38戸が7.5haで栽培しており、北陸最大の生産量となっています。初出荷では、ハウス栽培を手掛ける生産者4戸が、主力品種の「榊井ドーフィン」7ケース(1ケース1.2キロ)を持ち込みました。松浦尚輝部会長は「イチジクの甘さや独特の風味を楽しんでほしい」と話しました。

今年度の出荷目標は4万ケース、販売高5250万円を目指します。

の

とシャインマスカット初出荷

JAはくいはくぶどう部会は8月16日、種無しで皮ごと食べられる「のとシャインマスカット」の出荷をJAはくいはく南部育苗センターで始めました。初日は、農家一戸が12箱(62房)を持ち込み、金沢の市場へ出荷されました。10月中旬まで3000房の出荷を目指します。

今年は、糖度が20度近いものもあり甘く、生育は順調。今後は、高岡市場への出荷も予定しています。

同部会は「のとシャインマスカット」としてブランド化を進めており、1.2haで栽培。昨年の1haに比べて、増加傾向にあります。



初出荷された「のとシャインマスカット」
(南部育苗センター)

さらに輝く地域の宝

百万石の極み

「百万石の極み」をご存じでしょうか？これは、石川県独自の優れた農林水産物を統一ブランド化したものです。2022年8月1日に認定され、認定基準は主に、差別化、生産体制、市場性、生産量の4つ。第一弾では、「エアーフローラ」「ルビーロマン」「ひやくまん穀」など、20品目が選出されました。今回は20品目のうち、羽咋の特産品でもある3品目をご紹介します。

ルビーロマン

石川県独自の高級ぶどう「ルビーロマン」は石川県農業総合研究センター砂丘地農業試験場が14年の歳月を費やして育成したものです。「宝石に一番近い果実」と言われ、糖度は巨峰並みに甘く、粒の大きさは巨峰の約2倍以上。鮮やかな紅色に色付きます。品質に一切妥協しないため、出荷基準はかなり厳しく、希少価値が高まっています。

今年の初競りでは、過去最高額の1房150万円となり、4年連続で最高値を更新しました。JAはくいでは7月21日に初出荷を迎え、25日には生産者激励会も行われました。今年は6200房を目標に取り組みます。

ひやくまん穀は2017年に石川県オリジナルのお米としてデビューしました。誕生まで9年を要しています。じっくり育つ晩生品種で、一粒が大きく、炊き上がりはポリウム感があり、食べ応えがあります。さらに、時間が経っても硬さや粘りの変化が少ないことも特徴です。JAはくいでは今年度、90戸が約190haの生産に取り組み、地域農業戦略の実施目標の一つであるブランド化への取り組みを進めています。

ひやくまん穀



エアリーフローラ

石川県で2012年12月に8年の歳月をかけ誕生した「エアリーフローラ」

その名前には「優雅な春の女神」という意味が込められています。

開花の最盛期が卒業や入学など新たな旅立ちと重なることから、

「旅立ちを祝う花」と言われ、花言葉は「希望」

エアリーフローラは現在11色で展開。一重咲きから八重咲まであります。

また、エアリーフローラは水揚げが良く、常温で1週間以上楽しむことができます。

促成栽培で長期出荷を

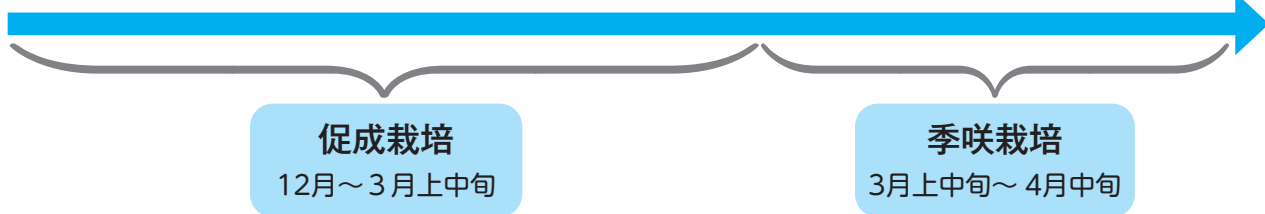


エアリーフローラの苗を冷蔵している様子
(南部育苗センター)

エアリーフローラには、主に2つの栽培方法があります。自然に開花する「季咲栽培」と球根を冷蔵して、通常より早く出荷できる「促成栽培」があります。2つの作型を組み合わせることで、12月〜4月までの長期出荷を行っています。

J Aでは、米の育苗が始まる2月末まで、南部育苗センターのハウスの貸出を行っています。栽培にかかるコストを抑え、生産者の所得向上を目的としています。

※エアリーフローラの出荷時期



促成栽培

12月〜3月上中旬

季咲栽培

3月上中旬〜4月中旬

エアリーフローラ定植講習会

色の種類

- ・ピーチ
- ・レッド
- ・ピンク
- ・パープル
- ・オレンジ
- ・ローズ
- ・イエロー
- ・シェルピンク
- ・サンセット
- ・シルク
- ・ホワイト

エアリーフローラの定植講習会が8月24日、南部育苗センターで行われ、中能登農林総合事務所の職員が訪れ説明しました。今年は、J A能登わかばとJ A志賀の生産者と合同で行われ、生産者計21人が参加しました。各地域の生産者で各々の栽培方法や意見を交わしながら、冷蔵作業工程や育苗箱栽培について学びました。今年のJ Aはくい管内生産者は、7人となっています。



講習を受ける生産者ら (南部育苗センター)

高級イチジク「黒蜜姫」出番

J Aはくい押水いちじく部会は8月25日、高級品種の黒イチジク「黒蜜姫」(ピオレソリエス)の今季出荷を始めました。初日は4パック(1パック300g)入り7箱が押水青果物集荷場に持ち込まれ、金沢市場へ出荷。9月からは東京などへの出荷も始まります。9月下旬から10月中旬までが出荷のピークで、11半ばまで出荷。今年は昨年同様、2.5tの出荷を見込みます。

J Aはくいでは初の試みとなる、楽天ヤフーで黒イチジクのネット販売を始めました。限定100セットで先着順。8月26日に始まり、31日で完売となりました。この日は、露地栽培の「榊井ドローフィン」の出荷も始まり約500箱が出荷。今後は、「榊井ドローフィン」のネット販売も予定しています。

初出荷を迎えた黒いちじく「黒蜜姫」(押水青果物集荷場)



ラジコン草刈り機実演会



ラジコン草刈機の実演(羽咋市菱分町)

J Aはくい担い手青年部は8月4日、羽咋市菱分町の圃場でラジコン草刈機の実演会を行いました。担い手への農地集積により、草刈の面積が増えていることから、スマート農業の導入による省力化を図ることを目的としています。部員ら15人が参加しました。

実演機は株式会社オーレックが6月に発売した「スパイダーモアRC」で、足場が悪い傾斜地での作業にも強く、遠隔操作が可能です。

同機種の実演会は、県内J Aでも初めて。参加者は「コスト負担が少ないことが良いと思う」と話しました。

活躍する農業者、表彰

電化設備を導入して地域で活躍する農業者を表彰する「農業電化推進コンクール」が行われ、羽咋市本江町の有限会社フロンティアはらが、8月8日に農業電化協会の県協会長表彰を受けました。乾燥調製施設や色彩選別機の増設による高品質米生産への取り組みが評価されました。

同社は、周辺地域の離農者の農地を集積して規模拡大を行い、中能登地域では最大規模となる85haの作付けを行っています。また、農薬の散布回数を減らし、エコ農業に取り組んでいます。

原雅幸社長は「最先端の設備の導入で今後も地域の農業を担っていきたい」と話しました。



有限会社フロンティアはらの電化設備施設(羽咋市本江町)



受賞した表彰状

乙女座
8/23 ~ 9/22

【全体運】頭の痛い問題は早めに向き合うのが解決への近道。時には妥協も必要です。おいしいものが潤滑油になってくれます

獅子座
7/23 ~ 8/22

【全体運】人とのつながりが幸運と幸福をもたらします。思い付きを実行してみるとうれしい新展開がありそう。下旬は謙虚に

第9期のと里山農業塾

秋野菜の種取りを実習

「第9期のと里山農業塾」は8月6日、秋野菜の播種・定植について学びました。

「奇跡のリンゴ」で知られる木村秋則さんを講師に迎えた「自然栽培実践塾」（JAはくい共催）の卒業生で、富山県氷見市の自然栽培農家・廣和仁さんが講師を務め、枝豆、キュウリ、ズッキーニの種取りを実習。18人の受講生のうち、16人が参加しました。

参加した受講生は「自分が作っている野菜と比べることができるので、学んだことがすぐに活かせることが嬉しい」と話しました。



研修農場での実習の様子(羽咋市巾川町)

のと里山自然栽培部会 生育状況を確認

のと里山自然栽培部会は8月5日、自然栽培米の生産者の圃場を巡回し、生育状況を確認しました。参加者は9人。

一部の圃場は、こなぎ草が多く収量は少ないと予想されませんが、雑草もない順調な圃場も見られました。出穂期は平年並みの8月11日頃となりました。



圃場で生育状況を確認する部会員
(羽咋市鹿島路)

たんぽぽ通信

【JAたんぽぽデイサービスセンター】



レク活動

新聞紙ホッケーの試合は毎回白熱しています。



夏祭り

寸劇で浦島太郎をしました！



へちまかな？
いえいえカボチャですよ

夏野菜収穫

【羽咋市デイサービスセンター】



外のひまわり

太陽に向かって咲く
“ひまわり”に元気を
いただいています



みんなで炭坑節を
踊りました♪

室内のひまわり

ひまわりの花を
飾りました。
笑顔の花も
咲いています♡



夏祭り

浴衣や法被を
着て夏祭りを
楽しみました♡

花火



夏の夜空に大輪の花火、はいポーズ！

2022 JAはくい秋の収穫感謝祭

日時 **10月22日(土)** 9:00~16:00
23日(日) 9:00~15:30

場所 **JAはくい 本店**
(羽咋市太田町と105番地 ☎26-3333)

詳しくは、10月中旬に配達予定の新聞折込チラシ(来場粗品引換券付き)にて、改めてご案内いたします。

バザー品を募集します!

収穫感謝祭にてバザーが開催されます。ご家庭で未使用の品物がありましたら、バザーにご提供ください。

◀募集物品> 日用品・食器・衣類など

◀募集締切> 9月12日(月) ~ 10月14日(金)

※お持ち込みは9:00~15:00まで
※充足次第締め切らせていただく場合があります。

◀募集場所> 経済課まで
(お近くの支店までお持ちください。)

◀お問合せ> 経済課 ☎26-3339

※売上は、JA福祉施設に寄付させていただきます。



女性部、役職員との対話活動

JAはくい女性部は8月2日、JA役職員との対話活動を実施。山本好和組合長らJA役職員と女性部役員の計13人が参加し、女性部の現状や課題、JA事業や米消費拡大について意見を交わしました。

宮崎禮子部長は「若い世代の参加が増えるよう、JAと連携して取り組みたい」と話しました。杉中由美子副部長が「女性部に期待することは何か」と問うと、山本組合長は「地域との繋がりが強化がJA

の自己改革において重要だ。女性部の活動の輪を広げ、ますます輝いてほしい」と呼び掛けました。



対話に臨む女性部役員(JA本店)

JAはくい行事 中止のお知らせ

例年開催しております下記のイベントについて、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、誠に勝手ながら本年は開催を中止させていただくこととなりました。

企画を楽しみにされていた皆様にはご迷惑をおかけすることとなり、大変申し訳ございませんが、何卒ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 10月下旬に予定しておりました
年金友の会 総会(羽咋)
年金友の会 総会(宝達志水町)
- 10月下旬に予定しておりました
JA共済いきいき健康促進活動
- 11月下旬に予定しておりました
共済友の会 懇親会

第6回JAはくい組合長杯
ゴルフコンペ参加者募集!

開催日: 11月3日(木・祝日)

場所: 朱鷺の台カントリークラブ(能州台・セルフ)

時間: 午前8時03分(1組目スタート)

予定人数: 20組80名(予定人数になり次第、受付終了)

参加費: 1,000円(プレー代は各自ご負担願います)

※コロナ感染防止のためパーティーは行いません。

※賞品は、後日お届けいたします。

申込期日: 10月14日(金)

申込受付: お申込者のお名前、住所、生年月日等を各支店又は総務部まで、電話または店頭でお申し出ください。

【お問合わせ】 宝達支店 ☎29-3133 担当: 西井
羽咋支店 ☎26-0008 担当: 猿田
総務部 ☎26-3333 担当: 高木



マイナンバーカード

店頭で、申請を受け付けます!

「申請方法がわからない」「難しくてできない」という方に、市職員が分かりやすく説明し、申請のお手伝いをいたします。

- ① 市職員が出張
- ② 申請受付・写真撮影
- ③ 市職員がインターネットで申請します。



約1ヶ月後

カードができましたら、照会書をご自宅へ送付いたします。照会書と本人確認書類を持って、羽咋市役所でお受け取り下さい。

※必要書類が揃っている場合は、カードを簡易書留でご自宅へ送付することもできます。

日時: 令和4年9月24日(土)・25日(日)
午前9時30分~正午

場所: JAグリーンはくい(羽咋市太田町と80番地)

対象者: 羽咋市に住民票をお持ちの方

問い合わせ先: 羽咋市役所 市民窓口課
市民窓口係(22-5940)

持続可能な地域農業・地域社会の実現に向けて

【食料・農業事業分野】

1. 持続可能な食料の生産と農業の振興に取り組みます
2. 持続可能なフードシステムの構築に取り組みます
3. 農業生産における環境負荷の軽減に取り組みます
4. 農業のもつ多面的機能を発揮していきます



【地域・くらし事業分野】

5. 安心して暮らせる持続可能で豊かな地域社会づくりに貢献していきます



持続可能な社会の実現を目指して

【協同・組織運営分野】

6. 国内外の多様な関係者・仲間との連携・参画につとめます。



国消国産はSDGsの達成にもつながります

⇒ 国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産をする



自然栽培地域プランナー認定講座 地域循環型農業普及へ人材育成



ZOOM (ズーム)による講義を行う
廣和仁さん

SDGs 専門総合ビジネススクール「Start SDGs」を運営する株式会社グローバルインベーションズ(東京都)とJAはくいは、「自然栽培地域プランナー認定講座」を開講しました。7月から始まった第1期が好評だったことから、第2期受講生の募集を開始しました。

本講座は、持続可能な開発目標(SDGs)を基軸に、自然栽培の本質を総合的に学び、地域循環型農業を普及する人材の育成を目的としています。

先着30人の会員制コミュニティで、11~2月に計8回、「ZOOM」を使ったオンライン受講となります。

富山県氷見市の自然栽培農家・廣和仁さんとJAで「のと里山農業塾」の運営に携わる栗木政明経済部次長が講師を務めます。

栗木次長は「修了後は、地方創生や地域循環型農業の旗振り役として各地で活躍してほしい」と話しました。

同社のホームページで申し込みを受け付けています。

だいこん集出荷作業 アルバイト募集

内容 だいこん集出荷業務
 職種 ①だいこん投入及び選別
 ②だいこん箱詰め及び箱パレット積み
 時給 900円
 期間 10月上旬～11月上旬
 時間 ①午前8時～午後4時
 ②午前9時～午後5時
 ※集出荷量により変動あり
 場所 J A園芸総合集出荷場(羽咋市中川町へ11-1)
 【お問合せ】園芸課☎29-3155 (担当: 藤森・松尾)

『農業用廃プラスチック類収集』 『不要農薬回収』の事前案内

『農業用廃プラスチック類』

収集日時 11月上旬(平日) 午前8時～正午
 収集場所 JAはくいカントリーエレベーター前(羽咋市深江町15)
 農家負担額 10月発行の広報誌及びチラシを参照下さい。

『不要農薬回収』

回収日時 11月上旬(平日) 午前8時～正午
 回収場所 JAはくい 北部育苗センター
 (JAはくいカントリーエレベーター横)
 農家負担額 10月発行の広報誌及びチラシを参照下さい。
 (注)不要農薬について、当JA以外で購入いただいた物をご遠慮願います。

【お問合せ】経済課☎26-3339

UFOカードで
地域と一緒に
盛り上げて
いきます！

やすらぎ会館 天照 香典返しにUFOカードを



羽咋市商業協同組合
金井亮太郎理事長

やすらぎ会館天照は香典返しのカatalogギフトに羽咋市商業協同組合が発行するポイントカード「UFOカード」を追加しました。
 UFOカードには、2000円分のポイント(1ポイント=1円)が付与されています。

【UFOカード機能】

- ・飲食店や衣料品店など、市内59店の加盟店で使用・チャージが可能
- ・見守り登録機能
⇒お子様の登下校通知に役立ちます！

土づくりで収量アップ

土づくりに必要なリン酸・ケイ酸・腐植が不足し、更に夏の暑さにバテて品質低下や倒伏などによる収穫減少が増えてきております。まずは基本の土をしっかり行い、稲体を強くし良食味生産と収量向上を図りませんか？



能登のやさしい土づくり



ひやくまん馬力

【お問合せ】JAグリーン☎26-8741 経済課☎26-3339

稲わらの焼却禁止について

「能登のやさしいたんぼづくり運動」では、生活環境への配慮や二酸化炭素削減のため、収穫後の稲わらの焼却を禁止しています。貴重な有機質である稲わらは燃やさず、必ず土壌にすき込んで土づくりを行ってください。

※「能登米」認証項目です。

【お問合せ】米穀課☎29-3122

JAグリーンはくい 9/30(金) 棚卸のため臨時休業

【お問合せ】JAグリーンはくい☎26-8741

第5回理事会

■日時: 令和4年8月23日(火)
 ■場所: JAはくい本店

<議案>

- (1) 事務リスク管理規程の一部変更について
- (2) 令和4年産米 生産者仮渡金の設定について
- (3) 太田給油所の洗車機・周辺機器の更新等について

<報告>

- (1) 組組合員の加入及び脱退について
- (2) 内部管理態勢にかかる指導要綱・JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- (3) 余裕金運用取引の報告について
- (4) 実績報告等(金融・共済部門)について
- (5) 実績報告等(営農部門)について
- (6) 実績報告等(経済部門)について
- (7) 実績報告等(福祉部門)について
- (8) 実績報告等(総務部門)について
- (9) (株)JAサービス営業報告について
- (10) (株)JAアグリはくい営業報告について

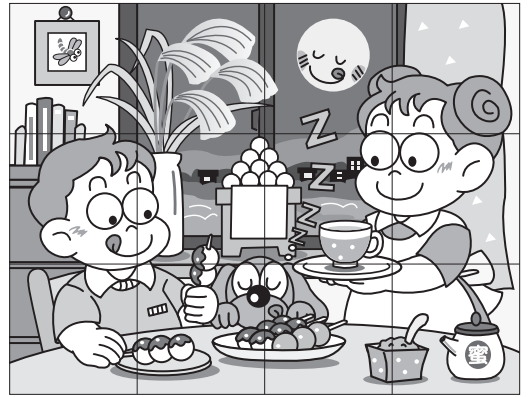
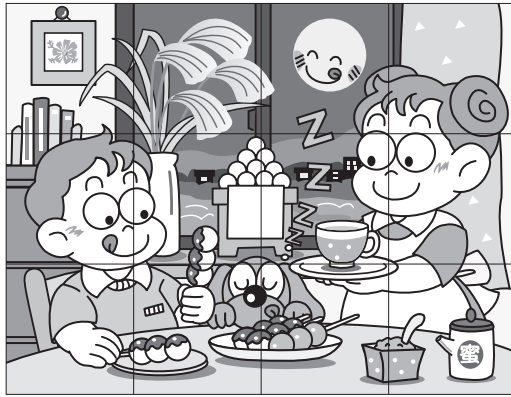
まちがい探し

今回の賞品



みたから天女化粧水
(抽選で5名様)

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。見つけてスッキリ！
間違っている部分を下のイラストの中の数字でお書きください。



先月号(8月号)の答え

- 1 ... 雲の大きさが違う
- 2 ... スイカ割りの棒の長さが違う
- 8 ... 目隠しのリボンが短い
- 10 ... カニのはさみが大きくなっている
- 11 ... 足のぼんそうこうがない

応募方法

ハガキに ①答え(5カ所の番号) ②住所・氏名・年齢・職業・電話番号 ③ご意見・ご感想・身近な話題などを添えてご応募下さい。

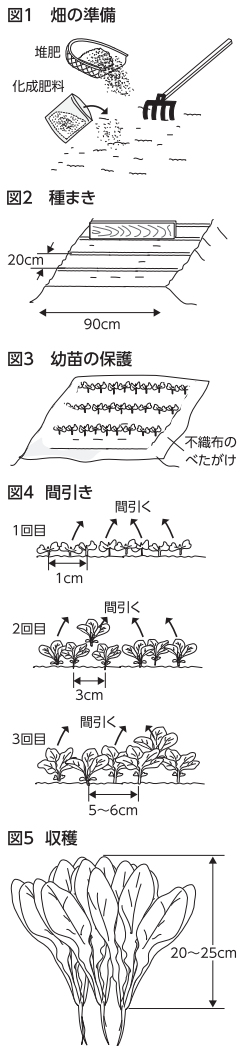
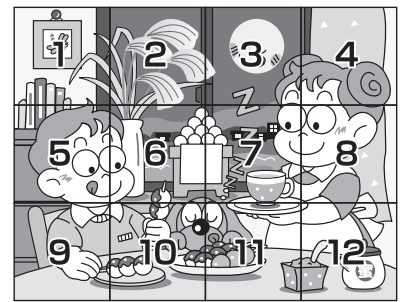
- 宛 先 / 〒925-8588 羽咋市太田町と105 J Aはくい本店 広報担当
- 応募締切 / 9月30日(金) 当日消印有効

☆郵送または、最寄りの支店にご持参ください。

※ご応募いただいたお客様の情報は、抽選及び発送の目的以外には利用いたしません。
※ご意見やイラストは誌面で紹介する場合がございます。

8月号のご応募ありがとうございました。(応募25通)

塩田 繁 様 安達 鏡子 様 吉田佳津子 様 中谷ひとみ 様 川端 モト 様



葉ダイコン 防虫ネットで虫害を回避

ダイコンの葉は、漬け物、ごまあえ、炒め物として利用されます。間引きした葉も利用できますが、葉を食べることを目的に栽培をします。

「栽培時期」ダイコンの生育適温は20度くらいで、秋まき(9月)が最も作りやすい季節です。しかし、葉ダイコンは生育期間が短いので、冬の11〜2月まきを除くと、いつでも種まきができ、1、2カ月で収穫となります。

「品種」ダイコンの品種はたくさんありますが、葉の品質が良く、表面に毛が少なく、柔らかい品種が葉ダイコンに適しています。専用品種には「葉大臣」(サカタのタネ)、「ハットリくん」(タキイ種苗)、「美菜」(ヴィルモランみかど) などがありますが、青首ダイコンの各品種や地方品種の「方領」「亀戸」も葉ダイコンに使えます。

「畑の準備」種まきの2週間前までに1平方m当たり苦土石灰200gをまき、よく耕し酸度を矯正しておきます。1週間前までに化成肥料(NPK各成分10%)100g程度と堆肥1kgを施し、土とよく混ぜておきます(図1)。その後、幅90cmの栽培床を作ります。

「種まき」栽培床の長辺方向と直角に、20cm間隔に約1cmの厚さの板を使って、土を押し込み溝を作ります(図2)。ここに1、2cm間隔に種をまき、種が隠れる程度に薄く土をかきます。発芽まで十分に灌水(かんすい)します。種まき後は、不織布のべたがけをして、幼苗を保護すると良いでしょう(図3)。

「間引き」発芽後3回に分けて間引きます。1回目は本葉が開く頃、株間が1cm程度となるように成長の遅れた株、密になっている株を抜き取ります。2回目は本葉3枚の頃、株間を3cm程度にします。3回目に最終株間を5、6cmに間引きます(図4)。

「灌水」畑が極端に乾いていたら、水を株元にたっぷり与えましょう。

「害虫防除」小さい葉の食害は後になって目立ってきますので、種まき後すぐに、不織布のべたがけ、または網目の細かい防虫ネットでトンネル状に被覆して害虫の侵入を防ぎます。農薬では、アオムシ、コナガにはBT剤(トアロー水和剤CTなど)で防除します。

「収穫」草丈が20〜25cmになったら、根を付けて抜き取ります(図5)。

※関東南部以西の平たん地を基準とする。

あなたもチャレンジ！ 家庭菜園

園芸研究家
成松 次郎

● 皆さまの疑問にお答えする

終活・相続セミナー

11月18日(金) 開催

あなたのおうちは大丈夫？



● 開催日時：令和4年11月18日(金)

○午前の部：10:00～12:00 [開場09:30]

会場：JAはくい 本店
住所：羽咋市太田町と105番地

○午後の部：14:00～16:00 [開場13:30]

会場：JAはくい 宝達支店
住所：羽咋郡宝達志水町敷浪壱14番地

参加無料

**各会場
50名様まで!!**

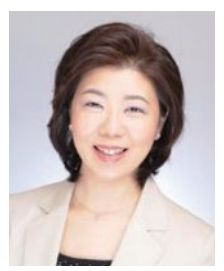
● セミナーのご案内

「老いじたく」～家族や自分が困らないためにしておきたい準備～

病気や認知症で介護が必要になったとき、また死亡後に相続手続きが必要になったとき、家族に迷惑をかけないためには、元気なうちに何を準備しておくべきでしょうか？今後困る可能性がある事がらと、それに備える際のポイントを理解しましょう。今回は、エンディングノート、遺言書、葬儀、お墓、そして死後のお金についてお話します。

【講師】明石 久美

相続・終活コンサルタント
ファイナンシャルプランナー1級
葬祭アドバイザー
シニアライフアドバイザー
消費生活アドバイザー 他



講師歴10年。
生前対策や死後手続きについて幅広い知識や視点を持ち、「生・死・死後」という、重くて難しそうなテーマをわかりやすく説明します。

**難しそうなテーマですが当日は、
「笑い」もありながら「楽しく」解説します。
お気軽にご参加ください！**

お問い合わせは
JAはくい

貯金課 0767-26-3340
共済課 0767-26-3535

羽咋支店 0767-26-0008
宝達支店 0767-29-3133

切りとり線

セミナーに参加ご希望の方は以下を記し、JA職員へ手渡し、または、上記までご持参ください。

(電話応募可能)

(ふりがな)
お名前 _____ 男・女

生年月日 明・大・昭・平 年 月 日

〒 _____
ご住所 _____

お電話番号 _____

ご参加希望 _____



**ご来場いただいた方に
もれなくプレゼント!**

申込期限
令和4年
9月30日(金)
まで